

研修会報告

令和6年1月13日

文責： 東北医科薬科大学病院 三浦りり佳、仙台市立病院 白井竜二

研修会テーマ「一般検査一步前へ ～今知っておきたい髄液検査と泌尿器科領域の臨床～」

開催日時 令和6年1月13日（土） 13:30～16:20

会場 Zoomウェビナーを用いたWeb開催

司会 仙台市立病院 臨床検査科 白井竜二

東北医科薬科大学病院 検査部 三浦りり佳

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者 41名 入会申請中会員0名 非会員1名 賛助会員1名 学生0名

合計 43名

講演1

13:30～14:15 「ここだけは押さえておきたい！当直時の髄液」

仙台市立病院 臨床検査科 古川 楓 技師

講演2

14:15～15:00 「当院の一般検査におけるISO 15189の活用について」

東北医科薬科大学病院 検査部 三浦 りり佳 技師

講演3

15:10～16:10 「尿検査と泌尿器疾患」

東北医科薬科大学 泌尿器科学分野 海法 康裕 医師

16:20分終了

内容

今回の研修会では、「一般検査一步前へ ～今知っておきたい髄液検査と泌尿器科領域の臨床～」というテーマで開催し、当直時に押さえておきたい髄液検査の基礎やISO 15189認定施設の一般検査業務、泌尿器科医による尿検査と泌尿器疾患の繋がりなど、基礎から応用まで幅広い内容の研修会を行った。

講演1では、白血球分類のポイントや細菌性とウイルス性髄膜炎の鑑別を中心に、症例提示をしながら解説していただいた。今回の参加者は当直時でのみ一般検査業務に従事している方も多く、検査への不安解消につながったと考える。講演2では、ISO 15189取得施設の日常として一般検査や検査室全体の運用や活用について説明し、ISO 15189認定の有無に関わらず、他施設でも実施できる内容を交えて講演を行った。講演3では、昨年改訂された「血尿診断ガイドライン2023」の内容からどのようにして悪性疾患を否定するか、実際のフローチャートを交えて解説して頂いた。さらに日常的に外来で実施されている排

尿管理について、検査とは違った目線からも講演して頂いた。

今回の研修会では県内外を問わず、幅広い経験年数の方にご参加いただき、アンケートでは各講演有意義であったという意見が多かった。尿沈渣の結晶鑑別方法や穿刺液関連、腎臓内科領域などについて興味を持たれている声が多かったため、これらの意見を反映させた講演を企画していきたいと考える。